

MIS036-P58

会場: コンベンションホール

時間: 5月26日 14:15-16:15

海洋研究開発機構の観測航海で取得されたマルチビームによる日本海溝付近の海底地形 Bathymetric feature around Japan Trench obtained by JAMSTEC multi narrow beam survey

木戸 ゆかり^{1*}, 富士原 敏也¹, 佐々木 智之², 木下 正高¹, 小平 秀一¹, 佐野 守¹, 市山 祐司¹, 華房 康憲¹, 坪井 誠司¹
Yukari Kido^{1*}, Toshiya Fujiwara¹, Tomoyuki Sasaki², Masataka Kinoshita¹, Shuichi Kodaira¹, Mamoru Sano¹, Yuji Ichiyama¹,
Yasunori Hanafusa¹, Seiji Tsuboi¹

¹ 海洋研究開発機構, ² 東京大学大気海洋研究所

¹JAMSTEC, ²AORI, Univ Tokyo

1995年以降、マルチナロービームによる測深データが集まり、2008年度には、データベースサイトを立ち上げ、航海毎にデータ公開を開始した。今回の東日本地震の事後調査の基礎資料とするため、過去の機構運用の航海データの内、海底地形データをまとめたので報告する。地震前までのデータを集約し、格子点状データを作成した。データは、JAMSTECの船舶「かいいい」「かいう」「よこすか」「なつしま」「みらい」の5隻に搭載されているSeaBeam2100, 2112シリーズ, SeaBat8160で取得されたデータを集め、各航海中に取得したXBTによる音速データを用いて補正をかけ、スパイクノイズを取り除いたものである。データのないエリアは、海上保安庁海洋情報部の「日本周辺の500mメッシュ海底地形データ」を参照した。このようなデータのコンパイル、マッピング作業により、どこの海域にどのくらいのデータ量が存在するのか明らかになり、今後の調査航海の測線計画や地震・津波イベント前後でのタイムラプス解析の可能性を探る基礎資料となる。なお、JAMSTECのウェブサイトのトップページにあるデータベースサイトから、今までの航海データ検索ができるポータルサイトや航海毎のレポートや測線情報、海底地形の生データなどの閲覧、ダウンロードが可能な航海データサイトの運用を2008年6月より行っている。

JAMSTECのデータベースサイト

<http://www.jamstec.go.jp/j/database/index.html>

航海データ検索ができるポータルサイト

<http://www.godac.jamstec.go.jp/dataportal/>

航海データサイト

<http://www.godac.jamstec.go.jp/cruisedata/j/>

キーワード: 日本海溝, 海底地形データ, 海洋研究開発機構データ検索ポータル, 海洋研究開発機構航海データベース

Keywords: Japan Trench, Multi-narrow beam bathymetry, JAMSTEC data search portal, JAMSTEC cruise database